

- 一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

**本文省略**

(鬼頭秀一『自然保護を問いなおす』から)

問一 傍線部ア～オを漢字で書きなさい。

問二 ( ) A・Bに入る最も適当な言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア さて イ つまり ウ また エ そして オ しかし

問三 傍線部1について説明している部分を文章中より抜き出し、その始めと終わりの五文字を書きなさい。

問四 傍線部2の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 理解できる イ 理解できない ウ 理解するほうがよい エ 理解しにくい

問五 傍線部3と同じ意味を表している言葉を文章中から抜き出し、十字以内で答えなさい。

問六 ( ) Cに入る最も適当な言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 現実 イ 理想 ウ 人工 エ 創造 オ 一般

問七 傍線部4は何をさしていますか。文章中から抜き出しなさい。

問八 傍線部5について、どういう状態が逆説的なのか、六十字以内で説明しなさい。

問九 傍線部6について、具体的な例を出して自分の言葉でわかりやすく説明しなさい。

問十 次の文はこの文章中に書かれていたものです。入る直前の六字を抜き出しなさい。

例えばわたしたちの生活において「土」とのふれあいはどんどん疎遠になってきている。

問十一 傍線部①「られる」と同じ意味で使われているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 朝早くても一人で起きられる。

イ 実験の結果が安じられる。

ウ 南部先生が講演に来られる。

エ 世間に広く実績が認められる。

問十二 傍線部②「一向に」を用いて、短文を作りなさい。(主語・述語を明確にすること)

- 一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

**本文省略**

(あさの あつこ『ランナー』から)

問一 傍線部ア～オの読みをひらがなで書きなさい。

問二 ( ) A～Cに入る最も適当な言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア もっと イ べたりと ウ きらりと エ ふっと オ ひやりと

問三 二重傍線部「沈み込むような」に使われている表現技法として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法 イ 倒置法 ウ 直喩法 エ 隠喩法 オ 体言止め

問四 傍線部1について、なぜ「碧季」はこのようなことをするのですか。文章中の言葉を使って過不足なく答えなさい。

問五 傍線部2について、なぜ「同学年の部員」は忙しげに帰ったのですか。文章中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

問六 傍線部①「微熱」と熟語の組み立てが同じものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 温暖 イ 表裏 ウ 不安 エ 腹痛 オ 直線

問七 傍線部3について、どういうことですか。わかりやすく説明しなさい。

問八 傍線部②「清潔」の対義語を答えなさい。

